

齋藤友紀雄委員提出資料

I 日本自殺予防学会報告

1. 国際自殺予防学会・第7回アジア地区国際学会予告
2. 第38回・日本自殺予防学会総会
3. 広島市自死問題シンポジウム

II 厚生労働省補助事業「自殺予防いのちの電話」報告書

III 「クリニック絆」報告書

平成26年 6月30日

第3回自殺対策官民連携協働会議

7th. Asia Pacific Regional Conference of the IASP
(第7回国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会)
開催にあたり

この度、国際自殺予防学会の連携組織である日本自殺予防学会は、自殺対策基本法施行10周年となる2016年に向けて、国際自殺予防学会アジア・太平洋地域大会の東京開催を誘致し、このほど同年の開催が正式決定しました。

日本自殺予防学会は、1970年に創設された「自殺予防研究会」をその前身とし、1981年より現在の名称で活動を続けてまいりました。2007年からは一般学術発表を含む学術大会形式の年会を開始いたしましたが、このような伝統をもつ日本自殺予防学会にとって、国際学会の誘致、開催は初めてのことです。しかしながら、一方で、「アジア」という視点で自殺問題を俯瞰しますと、アジアの人口の観点からみても、また文化・社会的背景の観点からみても、アジア、ないしは太平洋地域の自殺問題は、近年、大きくクローズアップされるところとなっております。

2016年という記念すべき年での国際大会開催にあたり、日本自殺予防学会は、自殺予防対策・活動のさらなる推進のために、官民のあらゆる組織・団体・個人と協力し、世界各国の多くの人々の参加を得て、大会を有意義なものとしたいと考えております。つきましては、皆様におかれましては、大会開催準備とその運営、そして当日のご参加に関してまして、格別のご高配を賜りますように、ここにお願いを申し上げます。

記

1. 主催・共催:国際自殺予防学会、日本自殺予防学会
2. 大会長:齋藤友紀雄(日本自殺予防学会理事長)
大会事務局長:河西千秋(日本自殺予防学会常務理事)
3. 大会期日:平成28年5月18日(火曜)ー5月21日(土曜)
4. 開催場所:東京コンベンションホール(東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン5階、東京メトロ銀座線京橋駅直結、東京駅八重洲口より徒歩5分)
5. 開催形式:一般学術発表、教育講演、特別講演、ワークショップ、シンポジウム、自殺対策基本法施行10周年記念国際シンポジウム、電話相談関連国際シンポジウム等(以上、原案)
6. その他:5月20ー21日に、日本自殺予防学会東京大会も同時開催の予定

*参考:過去の開催地

第1回:タイ・バンコク

第2回:シンガポール

第3回:香港

第4回:オーストラリア・ブリスベン

第5回:インド・チェンナイ

第6回:仏領タヒチ

2014年5月26日

7th. Asia Pacific Regional Conference of
the International Association for Suicide Prevention
大会長 齋藤友紀雄(日本自殺予防学会理事長)

第38回

The 38th Convention, Japanese Association for Suicide Prevention(JASP)

日本自殺予防学会総会

メニュー

[トップページ](#)
[会長挨拶](#)
[開催要項](#)
[学会プログラム](#)
[日程表](#)
[会場案内](#)
[演題募集](#)
[採択演題一覧](#)
[参加者へのご案内](#)
[発表・進行について](#)
[宿泊のご案内](#)
[託児室のご案内](#)
[お問い合わせ](#)

演題募集期間

2014年3月1日(土)

~~2014年5月31日(土)~~

2014年6月15日(日)

大会事務局

産業医科大学医学部
 精神医学教室
 TEL: 093-603-1611 (代)
 FAX: 093-692-4896
 E-mail:
asp38@mbox.med.uoeh-u.ac.jp

運営事務局

株式会社九州舞台
 TEL: 092-718-0330
 FAX: 092-718-0331
 E-mail:
asp38@kyushustage.co.jp

開催要項



学会名 第38回日本自殺予防学会総会
 The 38th Convention, Japanese Association for Suicide Prevention
 会期 2014年9月11日(木)~13日(土)
 会場 北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)
 URL: <http://www.convention-a.jp/sponsor/kokusai/>
 会長 中村 純 (産業医科大学医学部精神医学教室 教授)
 副会長 小野 享雄(社会福祉法人 北九州いのちの電話 理事長)
 事務局長 吉村 玲児(産業医科大学病院神経・精神科 診療教授)
 演題募集期間 2014年3月1日(土)~2014年5月31日(土)
[演題募集要項はこちら](#)

自死問題シンポジウム

「自死の淵に立つ心」にどう向き合うか

日時：6月29日(日)13時30分～16時30分

誰でも参加できます。参加費無料。

自死者は直前まで、「生きるのが辛い！誰か助けて！」という壮絶な心の苦しみと戦い、
なんらかの形でSOSメッセージを送っています。

私たちは、「死にたい」といふ訴えや自殺未遂行為に対してうろたえ、立ち往生し、
正面から向き合えず、「まさか死ぬことほくない」という思いこみに逃げ込みたくなります。

自死遺族の多くはその経験をしています。そしてそのことで、終生自分を責め続けるのです。

このシンポジウムは、自死遺族が自責の体験をもとに、「自死の淵に立つ心」に対して、

どのように向き合い、寄り添い、支えを多くの方と共に考えたいという思いから、

自殺防止対策の第三者者を講師に迎え、お話しを聞くために企画しました。

広島県も「自殺未遂者支援」に取り組むことを発表しています。

このシンポジウムが、医療・福祉・地域の支援者連携もとの自死者減少に

つながることを祈念します。

主催：NPO法人小さな一歩・ネットワークひろしま

共催：広島県、広島市

後援：広島市社会福祉協議会、広島県医師会、広島県看護協会、広島女学院大学、広島県心のケアセンター、自死遺族ケア団体全国ネット、
全国自死遺族連絡会、伊予新聞社、広島テレビ、中国放送、テレビ新広島、広島FMラジオ（順不同）

■プログラム

1部：13時30分～14時30分

～「電話相談」から見えてくる「死にたい気持ち」～

日本のいのちの電話連盟理事 齋藤 友紀雄氏

2部：14時30分～15時30分

～自殺未遂者の支援は自殺予防対策の1つの柱～

医療、地域保健・福祉の連携による再発防止の取り組み

横山市立大学教授 河西 千秋氏

3部：15時30分～16時30分

パネルディスカッション、会場との意見交換

※齋藤先生、河西先生と遺族や関係者を交えた

意見交換、会場との質疑応答や意見交換

■講師プロフィール

齋藤友紀雄氏 プロフィール

日本のいのちの電話連盟理事、日本自殺予防学会理事長、
民間相談機関連絡協議会会長、青少年健康センター会長、
北の丸クリニック常任理事、日本臨床死生学会理事

河西千秋氏 プロフィール：

横浜市立大学医学群健康増進科学教授（精神科医）。専門
領域は精神保健、自殺予防。日本自殺予防学会常務理事、
国際自殺予防学会日本代表委員、日本うつ病学会自殺対
策委員会委員長など。著書は、「自殺予防学（新潮社）」
など多数。

■会場 国保会館（広島市中区東白島町 19 番 49 号）



■お申込み、問い合わせ■ NPO法人小さな一歩・ネットワークひろしま

■電話／090-8358-2377（米山）

■申込みフォーム／ <http://chiisanaippo.com/otoiawase.html>

■メール／info@chiisanaippo.com

フリーダイヤル

「自殺予防いのちの電話」 2013年度 実施報告書

厚生労働省補助事業

一般社団法人 日本いのちの電話連盟：加盟センター

2014年3月

こころの痛み、
話せる電話です。



フリーダイヤル

「自殺予防いのちの電話」 2013年度 実施報告書

目次

はじめに	1
------------	---

2013年度 自殺防止対策事業実施概要

I. 自殺防止のためのネットワーク構築事業	2
II. 相談員研修活動等推進事業	2
III. 自殺防止相談窓口の普及・啓発事業	3
IV. その他自殺防止のために必要な事業	3
V. 全国いのちの電話フリーダイヤル受信体制一覧表	4
VI. 統計システム運用にあたって	5
VII. 自死遺族支援事業報告	6

事業内容報告

I. 自殺防止のためのネットワーク構築事業 第38回日本自殺予防シンポジウム（秋田大会）	7
II. 相談員研修活動等推進事業	
1. 研修支援のための講師派遣	10
2. 2013年度 相談員研修（出前）について	11
3. 研修講師の感想	12
4. 全国事務局長研修	13
III. 自殺防止相談窓口の普及・啓発事業	
1. フリーダイヤル相談の実施	14
(1) 広報活動	14
(2) 受信状況とその分析	15
(3) 受信状況統計	19
(4) 相談状況・背景票	20
(5) 相談者の声から	23
2. 公開講座の実施	24
(1) 実施一覧表	24
(2) 公開講座（講演）振り返り	25
2013年度公開講座（講演）チラシより	26
IV. その他自殺防止のために必要な事業	
1. 共催事業	27
電話相談実施にあたってのポスター	28
2. 自殺防止補助事業のための委員会（補助事業推進委員会）の設置と各種会議の開催	29

クリニック絆のご案内

篤志家のご支援により開設されて3年目です。相談件数も年々増加しております。
ここに改めて紹介方々、ご案内いたします。

毎日気分が重くて、
死にたいほどつらい

友だちがいないので、
悩みがあっても相談できない

同じ世代の人と
関わってみたいが
勇気が出ない

仕事に就きたいけれど
仕事もないし、勇気もでない

職場でのトラブルなど、
うまく他人と関係がもてない

親や周りからの
期待などの重圧に
つぶされそう

「病院に通いたい」
「通わせたい」けれども、
実現が難しい

本人や親の高齢化で、
状況解決の糸口が
みつからないなど

そんな思いの方、一度**電話**してみませんか？
お待ちしております！

電話相談は
無料
です。

死ぬほど
つらいときに...



自殺、ひきこもりなど心の危機の時に
03-5319-1760

● 電話相談 月曜日～金曜日 13:00～18:00

● 専門相談 土曜日 14:00～18:00

(精神科医による電話もしくは面接での相談を受け付けております。)

※面接の場合は有料。※面接予約受付は、月曜日～金曜日 13:00～18:00

※日曜・祝祭日は休みます。 <http://skc-net.jp/>

社団法人 青少年健康センター

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル 102号室(月～金 10:00～17:00)

TEL:03(3947)7636、0760 FAX:03(3947)0766

クリニック絆